

第29章 地域編⑤：北部

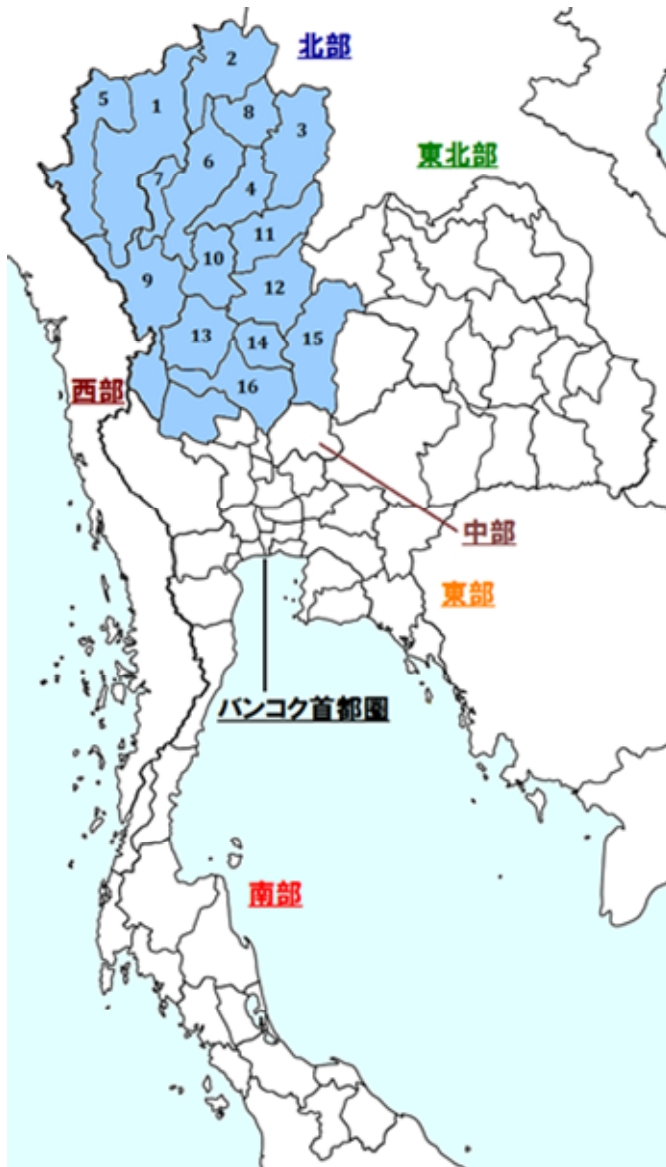
1. 地域概要

(1) 概要

①北部地方のタイにおける経済的地位

17 県で構成される北部は、人口 1,132 万人、名目 GDP は 1 兆 2,283 億バーツである（いずれも 2020 年）。経済の中心はチェンマイ県であるが、工業団地はチェンマイ県に少なく、すぐ南に位置するランブーン県に集中している。

図表 29-1 タイ北部地方の位置



北部地方		
1	チェンマイ	Chiang Mai
2	チェンラーイ	Chiang Rai
3	ナン	Nan
4	プレー	Phrae
5	メーホンソーン	Mae Hong Son
6	ランバーン	Lampang
7	ランブーン	Lamphun
8	パヤオ	Phayao
9	ターク	Tak
10	スコータイ	Sukhothai
11	ウッタラディット	Uttaradit
12	ピサヌローク	Phitsanulok
13	カンベンベット	Kam Phaeng Phet
14	ピチット	Phichit
15	ペッチャブーン	Phetchabun
16	ナコンサワン	Nakhon Sawan
17	ウタイターニー	Uthai Thani

図表 29-2 北部地方概要

No	県名	(英語名)	名目GDP [2020年] (100万バーツ)	人口 [2020年] (1,000人)	1人あたりGDP [2020年] (バーツ)
	北部地方	Northern	1,228,305	11,325	108,460
1	チェンマイ	Chiang Mai	237,701	1,801	131,967
13	カンペンベット	Kam Phaeng Phet	105,356	781	134,926
16	ナコンサワン	Nakhon Sawan	111,441	920	121,070
2	チェンラーイ	Chiang Rai	101,221	1,147	88,281
12	ピサヌローク	Phitsanulok	96,586	896	107,854
7	ランブーン	Lamphun	82,588	394	209,668
15	ペッチャブーン	Phetchabun	78,544	911	86,198
6	ランパーン	Lampang	70,795	704	100,591
9	ターク	Tak	63,366	535	118,508
14	ピチット	Phichit	49,669	511	97,221
10	スコータイ	Sukhothai	48,911	610	80,206
11	ウッタラディット	Uttaradit	40,543	409	99,236
8	パヤオ	Phayao	35,439	372	95,197
3	ナーン	Nan	34,474	441	78,147
4	プレー	Phrae	31,218	378	82,657
17	ウタイターニー	Uthai Thani	25,305	276	91,578
5	メーホンソン	Mae Hong Son	15,148	239	63,419

(出所) National Economic and Social Development Board より作成

②工業団地・日系企業進出動向

北部地方の工業団地は、ランブーン県に3カ所、チェンマイ県に1カ所、ピチット県に1カ所ある。日本企業は、このうちのランブーン県の工業団地に多く進出している。

(2) 進出日系企業からみた事業・生活環境やコスト

①インフラ・物流

【道路】

チェンマイ中心部からランブーン県の工業団地までの道路は複数車線であり、基本的に道路インフラ上の不都合はない。渋滞についても次第に進行しているといわれているが、ビジネスを行うにあたって特段の問題が生じるレベルではない。バンコクまでは約700kmの距離があるが、コンテナ貨物をバンコク港から出荷(入荷)する企業も少なくない。ただし、道中のランパーン県、ランブーン県とピサヌローク県の間が険しい山道であり、事故が発生しやすいようである。

【空港・港湾】

チェンマイ中心部から南西方向約 4 km の地点にチェンマイ国際空港がある。空港運営会社であるタイ航空公社 Airport of Thailand はチェンマイ空港を含む主要 6 空港のデータを公表しているが、それによると、チェンマイ空港は、発着回数は 2020 年 47,298 回、2021 年 21,900 回、乗降客数で 2020 年 6,271,657 人、2021 年 2,507,077 人、取扱貨物量は 2020 年 6,605 トン、2021 年 3,403 トンと、COVID-19 の影響で減少している。北部では軽量の電子部品等の集積が進んでおり、空路での輸送が使われることも多い。

【電力】

日本企業が進出しているランブーン県の工業団地では停電はほとんどない。ただし、電圧は不安定で変動幅が大きいとの指摘もある。

【通信】

通信では大きな問題はない。

②労働事情

【人材】

スタッフやマネージャーの場合、優秀な人材はバンコクへ流出する傾向が強く、採用が難しい。チェンマイには国立大学のチェンマイ大学があり人材が輩出しているが、卒業生はバンコクへ向かうことが多いようである。

【賃金】

2022 年 10 月の最低賃金（日額）が改訂されている。

図表 29-3 北部地方の県別最低賃金

県名	最低賃金 (日額、バーツ)
チェンマイ	340 バーツ
ナコンサワン、ピサヌローク、ペッチャブーン、ウッタラディット、パヤオ	335 バーツ
ランブーン、カンペンペット、チェンラーイ、ランパーン、ターク、スコータイ、ピチット、ウタイターニー、プレー、メーホンソーン	332 バーツ
ナーン	328 バーツ

(出所) JETRO 資料より作成

③生活環境

【気候】

チェンマイの月平均気温（平年値）はバンコク同様、4月が最も暑く、12月が最も涼しい。4月の平年値は29.3℃、12月は21.7℃である。降水量もバンコクと同様で、5月から10月が多い。

【教育】

チェンマイには日本人学校はないが、毎週土曜に国語と算数の補習機会を提供する補習授業校がある。

【医療】

外務省「世界の医療事情」にチェンマイ、チェンライ、ピサヌローク、スコータイ (<https://www.mofa.go.jp/mofaj/toko/medi/asia/thailand.html>)。チェンマイには日本人通訳のいる病院もある。

【治安】

チェンマイは観光都市であり、街中の治安は良いといわれている。

【住居】

工業団地で操業する日本企業の駐在員はチェンマイに居住するケースがほとんどである。また、リタイア後のロングステイで滞在する日本人も多く、サービスアパートやロングステイ者用の住居も多く提供されている。

【日本食】

大型ショッピングセンターには寿司やラーメン、牛丼等和食レストランが営業しており、スーパーでは日本食材の調達が可能である。また、チェンマイを拠点とする地場のリンピン・スーパーマーケット（Rimping Supermarket）では、海外から輸入した加工食品が多い。また、自社規準に基づく「有機野菜」「水耕野菜」等に分け、それぞれのパッケージに緑色、水色、白色、黄色、赤色のマークを付けたり、店内に説明用のポップを配置する等して、消費者が識別できるよう工夫している店舗もある。



リンピン・スーパーマーケット



※店内には日本語の説明も

2. 主要工業団地

No.	工業団地名	所在地	総開発面積
1	World Lamphun Industrial Estate (Lamphun 2)	Km.70 Chiang Mai Lam Phang Rd., Makhuea Chae, Muang, Lam Phun 51000	59 ha
2	Northern Region Industrial Estate	60 Moo 4 SuperHighway Rd., Banklang, Muang, Lamphun 51000	185 ha
3	Saha Group Industrial Park Lamphun	189 Moo 15 Pasak, Muang, Lam Phun 51000	262 ha
4	Phichit Industrial Estate	79 Moo 1 Nhong Lhum, Km. 97-98 Nakhonsawan-Pitsanulok Rd., Wachirabarami, Phichit 66220	229 ha

(出所) BOI より作成